

## 地域協会の活動について

～地域協会において全国初の「防犯設備士更新講習」を実施～

NPO 法人大阪府防犯設備協会 専務理事

原田 光生



### 1 はじめに

NPO法人大阪府防犯設備協会(大防設)は、平成13年11月15日に創立され今年で20周年を迎えました。しかし、近年治安の安定とともに防犯設備に関する市民の関心は低下傾向にあり、地域協会は会員の減少とともにその存在感が問われる現状となっています。さらに、日本防犯設備協会(日防設)が行う防犯設備士試験も新型コロナウイルス感染拡大から、リモート方式となり地域協会の支援が不必要になったこともあり、地域協会から日防設にせめて「防犯設備士更新講習」を地域で実施し、その活動を知らしめたいとの意見が出されていました。

### 2 地域での更新講習の実施と課題

このような地域協会からの要望もあって、日防設では「更新講習」を地域協会と協働で実施する方向を決定し、関西では昨年末から日防設の担当者、大阪、兵庫、京都の地域協会責任者等が会合を持ち、大阪会場を7月30日に開催する事を決定しました。このため、当協会では折角の機会であるので更新講習に合わせて最新のAIカメラ等の展示会を行い、合わせて更新講習以外に平野理事長による「AI機能付き防犯カメラについて」のセミナーをも行うことにし、会場を大阪市中央区の「エルおおさか」で実施することとしました。このため、会場は「講習会場、防犯機器展示室、セミナー傍聴室」の3室を借り準備を始めましたが、4月末に日防設に講習希望者を問合せたところ数名との事で、これでは折角の地域講習が有名無実となりかねず、また、折から新型コロナウイルス感染拡大中であり、開催に当たって「更新講習者の募集」と「感染防止対策」の二つの大きな課題がのしかかってきました。

### 3 大々的な募集活動の実施

当面一番の課題は講習受講者の募集でした。このため、当協会では日防設と連携し「特典一杯の更新講習へお誘い」のタイトルで「最新機器の展示会の開催、受講者にはクオカード、名刺シールかネックストラップのどちらか無償進呈」を内容とする広報チラシを作成し、大阪とその近辺の更新対象者216名に急遽当協会事務局から広報チラシを入れた受講案内を郵送しました。さらに、5月9日には全員にメールにて再案内を行いました。また、5月13日ズームによる臨時理事会を開催して協会理事等に現状を説明し協力要請を行いました。その上、展示会やセミナーの開催についての案内を大阪府警、大阪府、府下の自治体関係先、会員企業等に送付するなどの広報活動を大々的に行いました。

### 4 新型コロナウイルス感染対策の推進

このような活動の中、徐々に受講者等も増えていったことから、当協会では7月6日に三役会を行い開催に当たっての詰めを行いました。一番の課題は新型コロナウイルス感染対策でした。当時大阪は「まん延防止等重点措置」がなされている時であり、会場が密にならないような措置を取ることが喫緊の課題でした。このため、開催に当たっては平野理事長を総責任者に三役が「受付、案内、講習会場、防犯機器展示室」などの責任分担を担い応援スタッフを指揮することにしました。特に受付では体温測定と手指の消毒、マスクの着用を徹底する。講習会場の座席は一人空ける。展示会場は一方通行にして密を避ける。セミナーの別室については出席の有無をFAX等にて受理し人数を把握して密を避けるなどの諸対策を検討し確認しました。

## 5 開催日の状況

7月30日の開催日、展示室の受付は午前10時からで合計72名の参観でしたが、午後から参観者が増え、午後2時頃がピークとなりやや密になりました。しかし、一方通行にしていたのと、密にならないよう参観者・出展企業側にも呼びかけてスムーズな流れを作りました。一方更新講習の会場は午後0時に受付を行い、70名の出席でありましたが、順次会場内に誘導しました。会場の定員は130名なので出席者については机一脚に2名として密にならないように座って頂きました。しかし、会員企業の関係者がその日に数名出席を要請してきましたので、最後部に椅子を置いて聴講して頂きました。別室のズーム会場については32名の視聴者でしたが、更新講習の受付等で出席確認を行い展示室の見学をして頂いた後、ズーム会場に案内して密にならないような配席を行いました。



受付風景

## 6 おわりに

心配された更新講習者は70名に、また、展示会場も72名、ズームによる別室での視聴者も32名が来て頂くなど盛況に終わり、心配したコロナ感染等もなかったのもホッとしましたが、これは日防設、当協会役員、展示出展企業等皆様のご支援とご協力のお陰であり心から御礼を申し上げる次第です。講習終了後、受講者にアンケート調査を行い55名の方に回答を頂いたところ、38名の方が講習方式を希望しており、従来のレポート方式希望者は3名でした。今回の開催結果を教訓に今後も地域開催を継続して頂き、地域協会の活性化と発展に邁進したいと思っておりますので、今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます。



共通講習



大防設セミナー



機器展示会